

輝く羽咋デジタル総合戦略について（概要）

1 策定の趣旨

人口減少を和らげるとともに、デジタル技術の有効活用による人口減少社会に適応したまちづくりを行うことを目的とする。特に、雇用の創出、移住・交流の推進、結婚・出産・子育てへの総合的支援、安全・安心なまちづくり、持続可能な地域づくりについて、デジタル技術を積極的に活用しながら、近隣自治体や民間企業とも連携することで、地方創生と災害復興に取り組むための具体的な行動計画とする。

2 推進期間

令和6年度～令和9年度（4年間）

3 推進体制

- （1）市長を本部長とする「羽咋市まち・ひと・しごと創生本部」による全庁的な対応
- （2）市民や民間事業者等との協働による推進

4 検証体制

外部有識者で組織する「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」と市議会等による精査、PDCAの調査・検証、改善の実施。

5 デジタル総合戦略に掲げる人口の将来展望

- （1）長期的展望（2060年） 13,000人（第2期総合戦略の目標値から変更なし）
- （2）短期的展望（2030年） 18,000人（第2期総合戦略の目標水準から変更なし）

6 デジタル総合戦略の特徴

- （1）デジタル総合戦略の実施による目指すべき理想像（地域ビジョン）の設定。
「女性や若者を惹きつけ、こどもが健やかに育ち、暮らし続けられる羽咋をつくる」
 - ①女性に魅力あるまちの実現
 - ②持続的な地域経済の実現
 - ③暮らし、学び、成長し続けられる生活基盤の実現
 - ④スマートシティの実現
- （2）デジタル技術の積極的・有効的活用
 - ①全ての基本目標においてデジタル技術の積極的かつ有効的活用事業を明記
 - ②新たに基本目標6「スマートシティ推進」を設定し、デジタル技術を取り入れるための基盤、環境整備を行っていく事業を明記
 - ③「選択と集中」の考えに基づき必要事業を絞り、44KPIに精査
（既存戦略は82KPI）

《参考》 基本目標ごとの主な取り組み

【基本目標１】働く場と、多様な働き方ができる環境をつくる

- (1) 地元企業への就職・就業促進
- (2) シニア世代の活躍、市内テレワークの推進
- (3) トキ放鳥を契機とする環境保全型農業の推進、羽咋ブランドの強化
- (4) LAKUNAはくいを起点とした起業家チャレンジ支援
- (5) サテライトオフィス誘致

【基本目標２】新たなひとの流れを創出

- (1) 千里浜、柴垣、神子原などの里山・里海の自然資源を生かした魅力発信
- (2) 文化財とデジタル技術を組み合わせた新たな魅力の創造と発信
- (3) 外国人誘客の強化
- (4) 羽咋の玄関口を起点とした賑わいづくり
- (5) ふるさと納税やワーケーションによる関係人口拡大

【基本目標３】女性や若者、こどもに寄り添った生活・教育環境をつくる

- (1) 結婚相談員による結婚支援
- (2) 子育て全般に係る経済的負担の軽減と支援
- (3) 子育てアプリの充実
- (4) 宅地分譲、市営住宅、空き家などの多様な住環境の整備・提供、住宅の再建
- (5) こどもたちの高い学力の育成
- (6) ひとり親家庭への支援強化
- (7) 女性活躍の社会と交流の場の創出

【基本目標４】安全・安心な生活環境をつくる

- (1) 公共施設の計画的な最適化、都市基盤の維持
- (2) I o T、A I やドローンを活用した防災・災害対策
- (3) 地域における防災備品の分散型拠点スペースの整備
- (4) コミュニティバスとデマンド交通による地域公共交通の再整備、タクシーや路線バスの助成等も組み合わせた地域とまちなかを結ぶ総合的な交通支援

【基本目標５】ともに暮らし、学び続けられるまちをつくる

- (1) 健康維持と介護予防の浸透
- (2) 各地域の特徴を生かした地域づくり
- (3) デジタル技術を生かした、こどもから高齢者までの幅広い見守りネットワークの構築
- (4) 歴史や文化の伝承やふるさとの環境を思う心を育む郷土教育の推進
- (5) ウィズコロナ・アフターコロナに対応した感染症対策、地域経済の安定化

【基本目標６】スマートシティを推進する

- (1) マイナンバーカードの普及促進、利活用拡大
- (2) ビッグデータの有効活用
- (3) 産学官連携による推進体制の確立
- (4) デジタルディバイドの解消とデジタル人材の活用
- (5) 再生可能エネルギーを利活用した地域づくり